

# NO MORE ANIMAL TESTING

## 知って頂きたいこと—動物たちの苦しみ

日本では推定で年間  
2000万頭もの命が  
動物実験の犠牲に  
なっています。

- この犬は心理的ストレス状態を引き起こす実験のために、足を繰り返しハンマーで打ち砕かれました。麻酔も何の手当もされていません。

(日本の研究施設でイギリス人が撮影)



- 化粧品のドレイズテストに使われるウサギ。この実験では、ウサギの眼に化粧品の原料などを注入し、3日～4日間、眼がつぶれていく様子を観察します。



(京都大学霊長類研究所での実験)

- 人間に最も近いゆえにサルは様々な動物実験の犠牲になっています。動物実験に使われた動物は、実験後には殺処分されてしまいます。



- 急性毒性試験で苦しむ犬。自分の血で汚れた床の上でふるえ、目からも血を流しています。



(ニューヨーク自然史博物館での実験)

- この猫は眼球を摘出され、頭・上あごを脳定位固定装置で締め付けられて、死ぬまで生殖器の神経に電気ショックを与え続けられました。

**JAVA**

JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION  
NPO法人 動物実験反対会



## <動物実験>ならば虐待も許されるのでしょうか？

動物を苦しめ、死に追いやる動物実験は、密室における最大の動物虐待です。過去150年もの間、「医学研究のため」などという大義名分のもとで、罪もないたくさんの動物たちが化学物質を飲まされ、切り刻まれ、殺されてきました。

本来、動物虐待は、法律で罰せられる、れっきとした犯罪行為なのです。それなのに、動物実験なら、どんな残酷な動物虐待でさえも「人間の健康のため」と正当化されてしまいます。動物実験という名の動物虐待——

決して許されるものではありません。

## 動物実験で安全は買えません

「医学の発展や薬の安全性を調べるために動物実験は必要」とよく言われます。ところが、人間と動物とでは体の構造や代謝機能などの違い(=種差)があるため、「動物実験で得られたデータの多くは人間にあてはまらない」という

のが、今や科学者たちの間では常識になっています。動物実験の誤ったデータによってサリドマイド(睡眠薬)やスモン病(整腸薬)のような薬害が起こり、薬の副作用による死亡事故も後を絶ちません。

「人間のがんをマウスに移植して行う実験が人の治療に役立ったという記録はなく、そのような実験から臨床試験に進んだ抗がん剤の95%は市場に出ることがないと推測されている。実際、私が知っているだけでも、人の反応を予測することができずに判断を誤らせることになった動物実験が山のようにあった。」

米国立がん研究所がん生物学部門部長/ヒトがんのマウスモデルコンソーシアムのトップ  
シェリル・マークス博士  
(The Scientist 2010年4月1日号)

「動物実験によって得られたデータが治療に誤った知識をもたらし、医学の進歩を遅らせている。」

アメリカの医師と科学者の団体MRMC

\*欧米では専門家の間にも動物実験に反対する人たちが増えてきており、医師や科学者による動物実験に反対する団体がいくつもあります。

## 動物を使わない研究方法があります

近年、ヨーロッパを中心に動物実験に反対する市民の声が高まった結果、動物を使わない研究方法<代替法>の開発が着々と進んでいます。医薬学の分野においては、動物実験よりも科学的に信頼できて、倫理的に優れている代替法を用いることで、動物実験を減らしていく努力が進められています。さらに、化粧品分野では、EU(欧州連合)で、2013年3月に域内での動物実験および他国で動物実験さ

れた化粧品の販売が完全禁止になりました。この動きはEU以外の国でも起こってきています。これらはJAVAが活動を始めた30年前には予想もできなかった進歩で、動物実験の廃止はもはや現実離れたことではありません。長い間、動物たちを苦しめ続けてきた私たち人間にとって、動物実験の廃止を目指すことは義務であり、責任でもあるのです。

### 動物実験=NO!

### 動物を犠牲にしない代替法=YES!

### この選択は、私たち一人ひとりの手に委ねられています

●ぜひJAVAの会員になってください。入会資料などをご希望の方は、JAVA事務局へご連絡ください。

●JAVAの活動をご支援ください。ご寄付の振込先[郵便振替:東京00190-2-670517][ゆうちょ銀行:〇一九店 当座0670517] 共通名義/JAVA

**JAVA** NPO法人動物実験の廃止を求める会  
JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404  
TEL: 03-5456-9311 FAX: 03-5456-1011  
URL: <http://www.java-animal.org> E-mail: [java@java-animal.org](mailto:java@java-animal.org)

\*JAVAは特定の企業・政党・宗教とは関係のないボランティアの市民団体です。

JAVAは1986年に設立された全国規模の市民団体です。動物実験の実態と、その倫理的・科学的な過ちを広く知らせ、動物実験の廃止を目指す活動を柱に、動物の命と権利を守る活動を活発に行っています。世界100以上の動物保護団体とネットワークを持ち、世界有数の団体で組織された国際動物保護委員会(ICAPO)にはアジア地域で唯一のメンバーとして参加するなど、国内外の動物問題に積極的に取り組んでいます。

